

3 相談支援部会

(1) 平成31年度検討事項と結果

ア 事例報告による地域課題の検討

昨年度に引き続き、各事業所の事例報告により個別の事例を共有することにより相談支援員の知識を増やすなど相談支援体制の質の向上を図ることができた。また、個別の事例を検討することにより、「障害福祉サービス等の提供」や「障害の理解」などに関する課題を抽出することができ、各課題について検討する連絡会の立ち上げを決定した。

イ 地域移行・地域定着に向けた検討

保健所、病院、家族会及び相談支援事業所が連携して、精神科病院から退院できそうな人の退院後の支援も含めた情報共有を図ったが、本年度は対象になる人がいなかった。今後も各機関が情報共有を図り、必要に応じて退院支援に取り組むことを確認した。

ウ 障害と介護の連携について

上記アの地域課題の一つとして抽出された「障害と介護分野の連携」に向けて、障害者相談支援事業所と地域包括支援センターの交流会を開催し、相互理解及び課題の抽出を行った。参加者からは相互の連携について有益であったため、令和2年度以降も引き続き開催する。

(2) 令和2年度検討事項

ア 事例報告による地域課題の検討

各連絡会で抽出された地域課題について、特に相談支援事業所がサービス提供事業所等の関係機関と連携して改善・解決を図っていくために必要な情報共有及び方策の検討を行う。

イ 緊急時の相談支援体制の検討

地域生活支援拠点等検討部会と連携して、緊急時対応プランの作成時期や作成方法、記載内容等について検討し、緊急時における相談支援体制の構築を図る。